

資料リストを使って調べ、わかりやすく伝えよう

5年 活動名 総合的な学習 「環境調査隊」
 実践者 上作延小学校 川窪 睦子

1. 平成18年 10月5日～12月19日

2. ねらい

- ・身近な環境に目を向けて課題をみつけ、自分のテーマに沿って調べ方を考え追求する。
- ・家庭や学校など、身近な人たちに身近にできる環境によいことを知らせる。

3. 活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
<p>身近な環境に目を向け、自分が調べたい内容を決めテーマを設定する。</p> <p>テーマについての調べ学習を行う。無地の記録用紙と綴じ具を渡し、その時間ごとにわかったこと、気づいたことなどを自由に記録する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録用紙と共に資料リスト用紙を渡し、自分の課題解決に役立つ図書資料の番号や分類、資料名、簡単な内容について記録していく。 ・ インターネットで検索して調べる。サイトリストに載ったサイトやキーワードを活用する。その他に役に立ちそうなページを見つけたらサイト名や簡単な内容を書き込んでおく。 <p>調べた内容についてのまとめをし、発表する。今回は、グループごとに模造紙のまとめと、デジタルビデオカメラで撮影した環境CM作りを経験した。グループでどちらを発表するか選び、模造紙のまとめはポスターセッションで行った。</p>	<p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な環境問題を掘り起こすと共に、前もって環境に関する図書などを子どもたちが手に取って読む時間を確保し、事前知識を元に自分の興味に沿ってテーマ設定できるようにする。 ・ まとめの際に必ず参考にした図書資料やウェブサイトを明記するよう指導し、資料リストの必要性を伝える。 ・ 環境についてのホームページ数は膨大。今回はあらかじめ子どもたちが検索に用いそうなキーワードをいくつか用意し、それに関係したサイトを載せておいた。 ・ 模造紙のまとめでは、グラフや表を見やすく書き、それについて口頭で説明できるようにするなど、模造紙をただ読むだけにならないよう声をかける。 ・ デジタルビデオカメラの使い方を教え、前年度の5年生の作った環境CMを見せてイメージをつかみやすくした。

4. この取り組みによって、子どもにどのような変化(成果)がありましたか。

ある程度長期間にわたって行う調べ学習において、自分の使っていた資料が何であったのか、なにを見ればどんなことがわかるのかを記録しておくことは非常に役に立った。まとめの際に参考資料を書くときにも、こうした資料リストがあることが意識を高めることにつながった。また、まとめの方法として映像もあるということ、わかりやすく伝えるためにはどのようにビデオを撮影すればいいのかということ意識して活動することができた。